

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 吉田 節 美  
 幹事 石黒 正 則  
 会報・雑誌委員長 大 口 弘 和

No. 27

### ロータリーの夢を追い続けよう

### FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998~99年度 RI会長 ジェームスL・レイシー

#### きょうの例会

第793回 平成11年2月16日(火)

クラブフォーラム 小山国際奉仕委員長

#### 先週の記録

第792回 平成11年2月9日(火) 晴

- ◆“君が代”
- ◆“我等の生業”
- ◆黙 想 ~ 家族週間 ~
- ◆出席報告
 

会 員	71(67)名	出 席	50名
出席率	74.63%		
前々回	1月26日(修正出席率)	97.01%	
- ◆ビジター紹介 2名
- ◆ニコボックス(2/2・2/9)は紙面の都合上、次回掲載とさせていただきます。

#### 石黒幹事報告

1. 本日午後5時より、名古屋観光ホテル3階にてライセミナー準備委員会を開催致しますので、担当者はお忘れなくご出席下さい。
2. ロータリーの友2月号が来ております。新会員の酒井さんの名簿シールと一緒にお帰りにお持ち下さい。
3. ガバナー事務所より関西4地区(第2640、第2650、第2660、第2680地区)連合地区大会の参加ご案内が来ておりますので、ご希望の方は事務局にお申し出下さい。

#### 佐久間会員増強委員長よりお願い

98年7月当初、会員数70名でしたが、現在退会者2名、新会員3名(内1名は移籍)、休会者4名ということで、実質全員参加となりますと67名という現状にあります。7月当初から会員増強に関してはお願いしていますが、難しくなかなか増強につながりません。本日お配り致しました用紙をごらん頂き、皆さん1人1人の努力で増強していきたいと思っております。3月の半ば位までには1人でも多く候補者をご紹介頂けますようお願い致します。

#### 米山ファンドフェローへ感謝状授与



黒須アイ子さん、水野 賀續君、大谷 和雄君、鈴木 正男君に、会長より感謝状が贈られました。

#### 吉田(節)会長挨拶

旧文ではございますが、(97.10.13)朝日新聞の窓と言う論説委員の書いているコラム欄を見て居ますとこんな事が書いてありました。その題目は「都電からの風景」と言うテーマで次の様な記事でありました。

「年に数回だが都電に乗りに行く。勿論住いは東京でありまして荒川線(三ノ輪→早稲田)が都内で唯一残された都電の路線で、その三ノ輪橋駅は住いから歩いて15分程で当然の事乍ら、その都電を使っている通勤でもないのに、なぜ乗りに行くのか、やや大げさに言えば精神のバランスを保つ為である」と筆者は言って居られます。かつて都電は東京に限らず名古屋の市電も住民の足として市内くまなく走って居り大変便利な交通機関でありましたが、押し寄せるモータリゼーションの波にのまれ高度成長時代には邪魔な代物とみられ取り去られてしまい、今は見る影もない姿で、その一部が残っているだけであります。併し乍ら地方の都市へ行くとも多少形は変えて居りますが、その面影を残して居る都市もあります。この近くでは豊橋、岐阜の路面電車が残って居ります。もっとも岐阜の方は名鉄の経営となって居る様で厳密には市電とは言えないかも知れませんが昔の市電そのものの線路を走って居りますから一応市内電車と言っていいでしょう。有名なのは広島市電があります。

話が横道にそれてしまいましたが先の荒川線の沿線にはかつて高度成長以前の街の面影が漂って居り、昭和30年代の風景がなつかしく、何んと言っても時速13

kmというスピードは大変に心が和むスピードであると書いて居ります。そして筆者の言いたいのは高度成長時代、都市の景観を一変させただけでなく欲望の充足を至上価値とする大変せわしない人間を作り出してしまったのであります。或る経済学者(吉川洋氏)はその著書「高度成長」という本の中で涙をのんで上滑りして滑って行かねばならないと言った夏目漱石の「現代の日本」と言う講演の1部を引用して、かつての高度成長時代に於ける変化は本当の進歩と言えるのかと問いかけて居ります。

社会と人間を根底から変化してしまったのはむしろ高度成長時代でなかったかと時速13kmのスピードの都電にゆられながら、こんな感想記事を書き20世紀もあとわずかタイムカウントの時となり21世紀も目の前に迫り、パラダイム転換(ひとつの時代の支配的なものの見方や考え方が変わる事で社会全体の枠組、価値観の移行)があらゆる分野で進行して居る今日20世紀を根底から揺り動かし、21世紀に向けて物から心へ、対立から調和へ、複雑化から単純化へ、自然との共生の時代へと変わりつつあるのが現在ではないかと思えます。ちなみに名古屋の市電が廃止されたのは、昭和49年3月31日で、まもなく4半世紀が経とうとして居ります。道路の真中をノロノロと走る路面電車は時代おくれの乗り物というのが当時の一般的な認識であったが昨今欧米では路面電車の良さをもう一度見直そうという動きが出て参りました。路面電車は唯単に郷愁を感じると言うだけでなく、街角から気軽にのれて、どこへ行くにも便利だった路面電車の良さを、もう1度思い出してクルマ社会の抱える様な都市問題に対してその解決策になる乗物ではないかと考えておる昨今でございます。

## ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ ライラについて ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

### ◆大谷 和雄ライラ実行委員長

次年度ライラセミナーの実行委員長を仰せつかりました。まず場所をどこにするか地区ライラ(小)委員会副委員長の中山君とご相談致しまして、先般刈谷R.C.の野村ガバナーノミニーとお会いし、今までのご経験からいって、やはり「愛知県美浜少年自然の家」が大変便利であるという事で、明年3月25日(土)~26日(日)に決めさせて頂きました。

このライラというのは、皆様一人一役をして頂かなくてはならず、事前の準備が大変で、16歳から30歳までのIAC.RACあるいはクラブから推薦して頂いた青少年の皆さんを対象にこちらが指導して分科会をうながすのではなく、自発的に青少年達に分科会を進行して頂く為の事前準備が必要となります。

そこで準備委員会として、副委員長に小山さん、大口さん、委員に秋山さん、在田さん、二村さん、小杉さん、三好さん、佐久間さん、田中さん、吉田(玄)さん、以上の方々をお願いをし、今夜第一回ライラセミナー実行委員会を開催致します。皆様の格別のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ◆中山 信夫地区ライラ(小)委員会 副委員長

地区のライラ委員を委嘱されております中山です。先程、大谷ライラセミナー実行委員長より報告のありましたように来年度3月に第8回ライラセミナーホストを千種クラブをお願いすることに決定をいたしました。

たので宜しくお願いいたします。

皆様、御存知の通りライラ(小)委員会は、地区青少年活動委員会(来年度より新世代委員会に名称変更されることとなっております。又(小)委員会の呼称を止め、委員会となります)にインターアクト(小)委員会、ローターアクト(小)委員会と共に、ライラ(小)委員会の3つの小委員会として構成されております。

ライラの言葉の意味、又ライラが世界的プログラムとして発展をした経過につきましては、お手元の資料を御覧いただければ御理解いただけるものと思えます。

本日見ていただくビデオは、刈谷ロータリークラブのホストにより、96~97年度場所も同じ「愛知県美浜少年自然の家」で行なわれました、第5回ライラセミナーを記録したものであります。この時ライラ(小)委員会を務められましたのは、来年度ガバナーとなられます、野村重彦現ノミニーでありますので特に参考になるビデオと思えます。

又来月の13~14日に尾西ロータリークラブのホストにより第7回ライラセミナーが同じく美浜少年自然の家で開催され、当クラブからも多くの皆様に参加していただくことになっております。

来年のライラセミナーの成功に向け、是非会員の皆様の御支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

※このあと、'96~'97年度 刈谷RCホストによるライラセミナーの様相をビデオにて映写。

## 例会変更のお知らせ

名古屋錦RC	2/23(火)、4RC合同例会の為、 2/24(水)
豊山一城北RC	2/23(火)、名古屋空港RC合同夜間例会の為、18:30~
名古屋名北RC	2/24(水)、4RC合同例会の為、東急ホテルにて
名古屋守山RC	2/25(木)、4RC合同例会の為、2/24(水)東急ホテルにて
名古屋北RC	2/26(金)、4RC合同例会の為、2/24(水)東急ホテルにて18:00~

## ライラニュース! No.2

RYLA(ライラ)とは

RYLAはRotary Youth Leadership Awardsの頭文字を取って、ライラと呼ばれています。ライラは1971年R.I.にとり上げられ、世界的プログラムとして発展し1973年にはアメリカで、1974年にはフランスで、さらに1976年には日本で「ロータリー青少年指導者養成プログラム」として各地で活動を展開しています。

第2760地区 ライラ(小)委員会  
副委員長 中山 信夫

◆次回例会(2月23日)  
友愛の日